公的年金保険の仕組み（賦課方式）令和4年度の例

公的年金の給付は、主に現役世代が納める保険料と国庫負担で行われています。※１厚生年金保険料率は（H29/9～）18.3%になりこれ以上は、上げないことが決定している。

 国民　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　 　　年金制度　　　　　国等

年金への

国庫負担

受給権者数 4,040万人

（令和元年度末）

老齢基礎年金　　　　（令和元年度末）

平均額：月5.6万円

老齢厚生年金

1人あたり平均額：月14.6万円

（基礎年金を含む）

公的年金加入者数6,762万人

　（令和元年度末）

被保険者

第1号　　　　　第2号　　　　　　　第3号

（自営業等）（会社員・公務員）（専業主婦等）

1,453万人　　　4,488万人　　　　　820万人

保険料

38.8兆円①

（令和3年予算ベース）

国民年金

厚生年金

現役世代（年金を拠出する）

セカンドライフ世代（年金を受け取る）

13.3兆円②

**（令和3年予算ベース）**

国民年金保険料（第1号）

16,610円（R3/4～）

厚生年金保険料率（第2号）

18.3％（H29/9～）（労使折半）※１

報酬月額が34万円であれば31,110円（＝34万円×18.3%×1/2）を本人が毎月負担

）

年金積立金資産額

（国民年金・厚生年金）

（令和2年度末）

**194.5兆円**

**（時価ベース）**

年金給付

56.4兆円①＋②＋③

（令和3年予算ベース）

4.3兆円③

**（参考）国の一般歳出**

**66.9兆円（令和3年度予算**）

厚生労働省HP:「公的年金制度の概要」より作成